



3ポートメカニカルバルブ

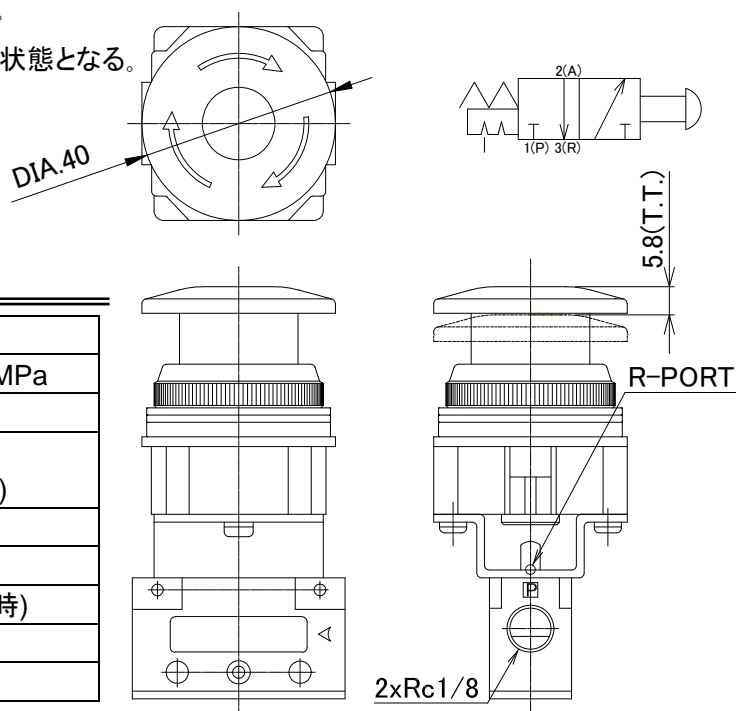
VM130-01-30*-X219

SMC 株式会社
本社 〒101-0021
東京都千代田区外神田 4-14-1
秋葉原 UDX 15 階
URL: <http://www.smcworld.com>

特長 1: 押ボタンがプッシュロックターンリセット形

ボタンを押す: バルブが ON 状態で保持される。

ボタンを回す: 保持が解除され、バルブが OFF 状態となる。



仕様

使用流体	空気
使用圧力範囲	-100kPa~1.0MPa
保証耐圧力	1.5MPa
周囲温度および 使用流体温度	-5~60°C (凍結なきこと)
有効断面積	2.5mm ²
全体の動き(T.T.)	5.8mm
全体の動きに必要な力	21N (0.5MPa 時)
給油	無給油 *1)
質量	175g

*1) 給油を行う場合、タービン油 1 種(ISO VG32)

型式表示方法

VM130-01-30 **R** -X219

押ボタンセレクタの色

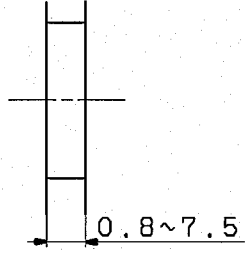
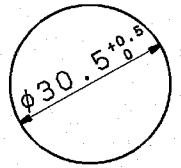
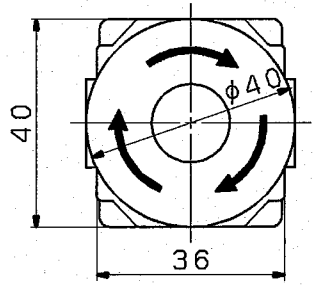
R	赤
B	黒
G	緑
Y	黄

外形寸法: mm (最終ページに添付した図面を参照してください)



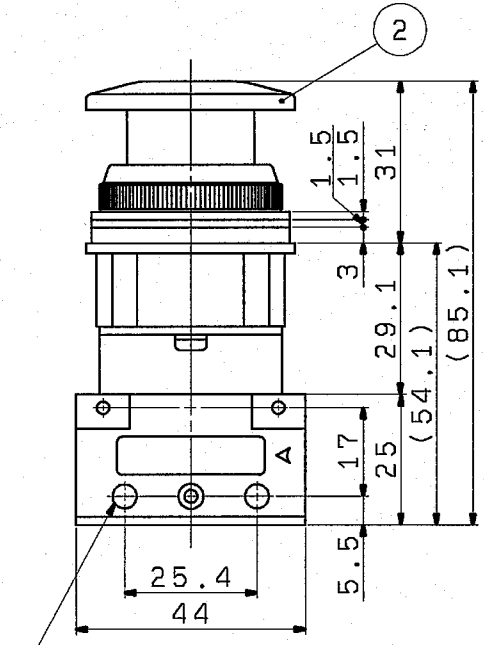
注意: 製品を安全にご使用いただくために、使用前には必ず弊社 Best Pneumatics (総合カタログ)『安全上のご注意』の内容をよく読み、理解してからご使用ください。

非管理
UNCONTROLLED
改訂があっても差し替えしません
MAR 7 2008
開発第3部
DEVELOPMENT DEPT.3
SMC CORPORATION
TOKYO JAPAN

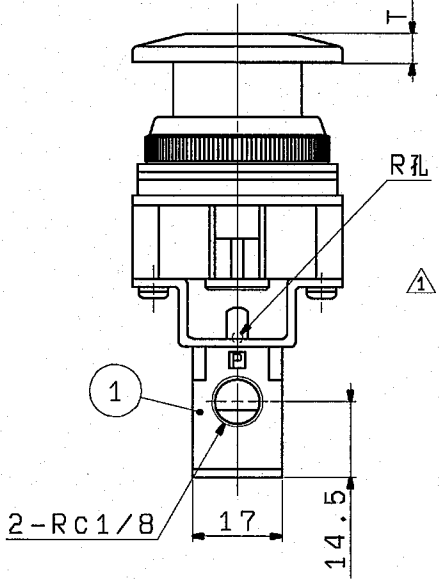


パネル取付穴

T.T. 全体ノ動弁 5.8



2-5.5取付穴



仕様

1	記号表示	
2	使用流体	空気
3	最高使用圧力	1 MPa
4	最低使用圧力	-100 kPa
5	周囲温度及び使用空気温度	-5~60 °C (凍結ナキコト)
6	有効断面積	2.5mm ²
7	全体ノ動弁 (T.T.)	5.8mm
8	全体ノ動弁ニ必要ナ力(F.O.F.)	21N (at 0.5MPa)
9	質量	175g

△ 釦ノ色ハ、赤(R)、黒(B)、緑(G)、黄(Y)ノ四種類。

特注品ノ仕様・組立・検査注意事項

標準品 (VM130-01-30^{RB}_{GY}) トノ相違

- 部品表枠外ノ☆印ノ使用部品ガ異ナル。
- 押釦ガプッシュロックターフリセット形デアル。
- 組立及ビ検査ハ特注品組立・検査注意事項手順書 (VM*-PMK0759) ニヨル。

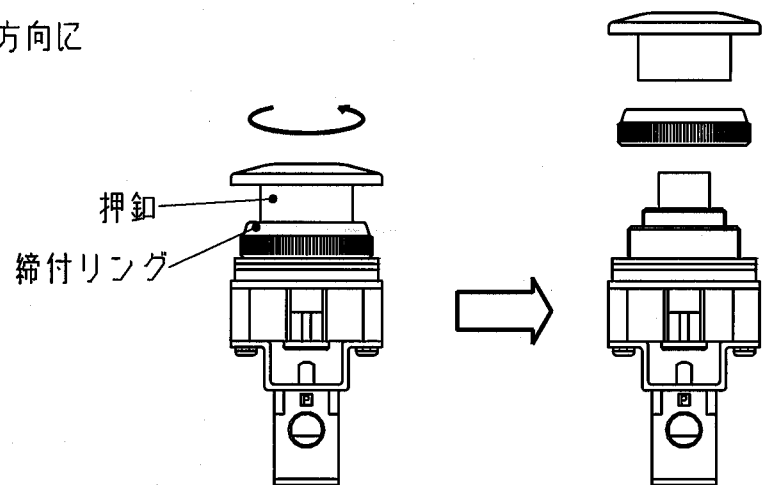
☆	2	VM-30A ^{RB} _{GY} -X219	キノコ頭形押釦ヘッド	1		
	1	VM130-01-00	基本形メカニカルバルブ	1		
ITEM	PART NO	PART NAME	MATERIAL	QTY	REMARKS	
			FINISH			
			PAINT			
△	2	注書事項③変更、仕様変更	2008-02-29 T.Ueno	VM*-DML1411		
△	2	釦ノ色 黒(B)、緑(G)追加	2005-09-29 T.Ueno	VM*-DMJ0729	PACKING	
REV. QTY	DESCRIPTION	DATE PREPARED	REV NO	MATERIAL	MODEL	QTY
TOLERANCES JIS B 0405		DRAWN	SCALE			
RANGE (mm)		DATE	1 : 1			
GRADE		DESIGNED	DWG NAME			THIRD ANGLE
±	m	DATE	押釦 (キノコ頭) 形メカニカルバルブ			
±	C	CHECKED	DWG NO			REVISION
±	2	DATE	VM130-01-30 ^{RB} _{GY} -X219			2
±	3	APPROVED				
±	3	DATE				

FINISH: 表面処理 / PAINT: 塗装 / PACKING: 包装区分
MATERIAL: 材質 / MATERIAL SIZE: 材料寸法

DWG NAME: AC50499102 SMC Corporation

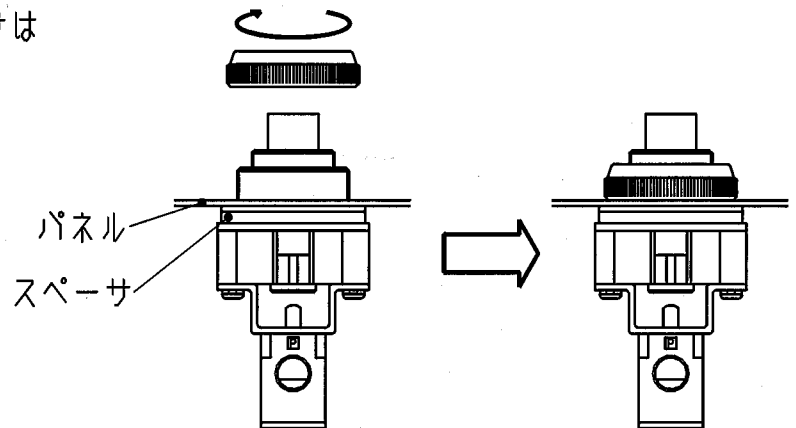
【作業1】押釦、締付リング取り外し作業

押釦、締付リングの順序で、それぞれを反時計方向に回転させ本体から取り外してください。



【作業2】パネルへの取付作業

本体をパネルへ挿入し、締付リングにて固定してください。また、本体に付属している3枚のスペーサはパネルの厚みに応じて取り外してください。



【作業3】押釦取付作業

押釦を時計方向に手締めにて負荷がかかるまで締め付けてください。

注意：押釦の締付があまい場合、押釦を操作してもバルブが切り換わらず出力しない、又は、一時的に出力するがバルブが保持状態になったときに出力が止まってしまう現象が発生する可能性があります。このような現象が発生しましたら、再度押釦を締め込み直してください。

